

# 小中学校の「正規教員」の割合を改善へ！

福岡県議会議員

## 田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま政治刷新中！

第43号

2017年11月発行

<田辺かずき事務所>  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】  
■立憲民主党が大躍進  
■とにかく地域を駆ける

### 議会提案受け、県教委が計画策定 全国上位目指して増員

福岡県議会9月定例会（9月11日～10月13日）で、県教育委員会は、公立小・中学校の教員定数に占める正規教員の割合を大幅に増加させる計画を初めて明らかにしました。福岡県の正規教員の割合は平成29年度で86.4%と全国でも最も低い水準にあるため、計画的に増員することで平成

35年度までに96.4%に引き上げます。これにより、子どもたちの教育環境の向上が期待できます。

この計画策定は、私が所属する民進党・県政クラブとして、平成27年9月定例会や平成28年6月定例会の本会議などで正規教員の計画的増員の必要性を提案した結果、実現したものです。

福岡県では教員数の将来見通しが不十分だった結果、小・中学校で教員定数に満たない状況が生じています。正規教員が不足した結果、（非正規雇用の）

常勤講師で対応する事態となり、それでもなお、私の6月定例会の

代表質問で明らかになったところによると、平成29年度は入学式時点で小学校60校75人、中学校8校8人の常勤講師が不足し、学級運営や授業に支障が出ていました。

私の質問を受け、城戸秀明教育長は「今年度も講師が不足し、学校現場に負担をかけていることは、人的な条件整備を担う県教委として責任を感じている。今後ともより精度の高い推計に努め、正規教員の増員計画を随時見直す」との考えを表明していました。今回の計画の公表はこうした経緯の延長線上にあります。

今後は、公表された計画が確実に実行されるよう、議員として毎年度しっかりとチェックしていきます。

### ■公立小・中学校の教員定数に占める正規教員の割合の推移と見込み

小中学校	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
教員総数(A)	13,441	13,468	13,615	13,571	13,998	13,751	13,884	14,007	14,131	14,255
正規教員(B)	11,634	11,780	11,893	11,693	11,733	11,875	12,277	12,593	12,945 (13,220)	13,285 (13,564)
うち新規採用	638	489	455	574	595	720	940	950	950	950
うち再任用	4	13	43	65	168	328	502	603	699 (535)	759 (602)
正規教員の割合(B)/(A)	88.0%	87.5%	86.4%	86.1%	86.3%	86.4%	88.4%	89.9%	91.6% (93.6%)	93.2% (95.2%)

※福岡県教育委員会の公表資料より抜粋  
※H32年度以降の( )は、H31年度から退職年齢が延長された場合の試算

### 対話集会を開催！

政治家が地域をくまなく回り、住民の皆さんと顔を合わせて「対話」をすることは民主主義の基本。対話集会は、私が最も大切に行っている活動のひとつです。10月には古賀東区公民館で開催し、古賀市だけでなく、宗像、福津両市など県内各地からご参加いただきました。

### 田辺の政治活動を連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント→@tanabe\_kazuki



お声掛けいただければ、自治会の公民館・集会所でもサークル活動などの集まりでもどこでも参りますので事務所（092・692・8510）までご連絡ください！

# 立憲民主党が躍進、宗像・福津・古賀で比例第2党に

## 田辺一城の 発信箱

第48回衆院選が10月22日、投票開票されました。私が民進党幹事長として責任者を務める福岡4区（宗像市・福津市・古賀市・糟屋郡）では、比例代表で、民進党でお世話になった方々が所属する立憲民主党が躍進し、自民党に次ぐ得票をいただきました。

一方、福岡4区の小選挙区で候補者を擁立できなかったことについては幹事長として大変申し訳なく思います。選挙期間中も地域を回る中、民進党の理念と政策にご理解をいただいている方々、安倍政権の国家運営に疑念を抱いている方々など多くの皆様から「どうすればいいのか」とのお声を多くいただきました。

開票の結果、福岡4区の衆議院議員は自民党の方だけになりました。私は「定数1」の古賀市選挙区で様々な政党支持者の方々、様々な立場の皆さんにご支援とご理解をいただいているので、私たちの暮らしを取り巻くあらゆるテーマで多様な意見に耳を傾け、社会調和を図る姿勢を大切にしてきました。私の理解では安倍政権の国家運営はこうした姿勢が欠如

しており、民主主義の危機を感じています。今回当選された衆議院議員の方にも「たった一人の代表者」として社会調和を図る重要性を強く意識していただきたいと思っています。

「政治家が選挙区を丹念に歩き、有権者と対話を積み重ね、国民の生活に根ざした政策を提示して、選挙で審判を仰ぐ。そんな地道な政治は遠い夢になったのだろうか」。全国紙の政治部長が論文でこう書いていました。私は、少なくとも自分の地元では「遠い夢にはなっていない」と言える活動を続けなければならぬとあらためて胸に刻みましました。

私たち一人一人が「国民に主権がある」と実感できているかどうか。そして、多様性を許容し、異なる意見に耳を傾け、社会調和を図る民主主義を実感できているかどうか。私たち一人一人が、今後の政権運営をしっかりと注視し、思考し、評価し、未来につなげましょう。この社会は、この社会に生きるすべての「私たち」でつく



選挙期間中は事務所に旗を掲げ、投票を呼びかけました

## 【民進党は存続しています】

「民進党はなくなったのか？」とのご質問を多くいただくので説明します。結論は、民進党を離れたのは多くの衆議院議員の候補者の方々だけであり、参議院議員や田辺を含む地方議員、党員・サポーターの皆さんは民進党に所属しています。

民進党は今回の衆院選に政党として参加しませんでした。このため、民進党から立候補する予定だった候補者の方々の多くが、立憲民主党や希望の党で選挙に臨みました。この二つの政党から立候補しない選択をした野田佳彦前首相や岡田克也元代表などは、民進党を離れないまま「無所属」として選挙に臨みました（民進党が衆院選に政党として参加していないため、無所属にならざるを得なかった）。

衆院選後の現在、民進党には、無所属で選挙を戦った衆議院議員、参議院議員、地方議員、党員・サポーターの皆さんが在籍しています。地方政治は国政の動きの影響を受けざるを得ませんが、田辺自身は主体性と自立性をもって今後も民進党の理念と政策を基本に活動していきます。そして、民進党の理念と政策を共有している立憲民主党や希望の党などの衆議院議員ら国会議員の皆さんと連携していきます。

## <田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業  
(高51回、現在は同窓会顧問)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業  
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選  
厚生労働環境委員会（～13年）  
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）  
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選  
広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長（～17年）
- 【所属】 福岡県議会・農林水産委員会  
同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会  
同・タイ友好議員連盟事務局長  
同・スポーツ議員連盟幹事
- 民進党【衆議院】福岡県第4区総支部幹事長  
民進党全国青年委員会事務局局長
- 【家族】 会社員の妻、10歳の長男、7歳の長女  
古賀東小学校PTCA会長（PTCA=PTA+地域のC）



古賀市内の道路や建物の劣化した壁面を塗り替えて、新たな創造を次代につなぐ「ぬりつなぎ計画」に参加しました。認定NPO法人エコけんさんとアーティストの坂崎隆一さんの主催で、福岡県の共同社会づくり基金を活用していただいています。10月8日、図書館横の現場に立ち寄り私も絵筆をすすめられて飛び入り。小学生の頃はクラス用に連載漫画を描いていたので絵を描くのはやはり楽しいです。ただ、今回描いた亀の評価は避けます(笑)

## 「ぬりつなぎ計画」に参加ー県の基金を活用

## 手元にある政治の実践 — 民主主義の確立

政治家は民主主義における住民の皆さんの「道具」です。地域のイベントをはじめ様々な現場に赴き、社会課題を発見し、その課題を解決するための政策を形成しなければなりません。だからこそ、政治家は住民にとつて身近な存在でなければならず、皆さんに「政治が手元にある」と実感していただける状況をつくらなければなりません。

今年の夏から秋にかけても古賀市、福津市、宗像市、糟屋郡の各地を回り、多くの皆さんから「声」を聞かせていただきました。議会での具体的な質問・提案につなげた事例もあります。今後もしっかりと回りますのでぜひお声掛けください！



## 田辺かずき事務所からのお知らせ

### 【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があつてこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただいています。事務所（092-692-8510）まで。

### 【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書（1～2カ月に1回のペースで発行）で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただいています。事務所（092-692-8510）までご連絡ください。